

所沢市民文化センター ミュース

# 運 営 方 針

(2018 年度～2021 年度)



公益財団法人所沢市文化振興事業団



## 芸術文化で新たな所沢の魅力を創出し発信します

### 【5つの基本方針と方策、取組】

2018年度から2021年度の4年間の運営方針では、所沢市が2018年2月に策定した「所沢市文化芸術振興ビジョン」（以下、「文化芸術振興ビジョン」）で示された方向性や、「ところざわサクラタウン」のオープンや2020東京オリンピック・パラリンピックの開催といった、今後の所沢市の文化振興施策にも影響を与えるであろうビッグ・イベントを念頭に、施設の大規模改修と長期休館、リニューアルオープン後の施設維持管理業務の大規模改修事業者への移管など、所沢市民文化センター ミューズ（以下、「所沢ミューズ」）及び公益財団法人所沢市文化振興事業団（以下、「事業団」）を取り巻く環境の著しい変化を踏まえ、①優れた芸術文化を提供・発信していきます②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します③身近な所沢ミューズをめざします④健全な事業団運営に努めます⑤人にも地球にもやさしい施設をめざしますの5つの基本方針を掲げ、それぞれについて方策と取組を提示しました。

今後も「所沢ブランドの推進」と「所沢プライドの醸成」に貢献できるよう、この4年間はここに示した取組をひとつひとつ積み重ね、健全で安定した継続性のある組織体制の構築と、ホール特性や地域との連携体制を十分に活用したこれまで以上に魅力的でオリジナリティのある事業を展開し、新たな所沢の魅力の創出と発信に努めていきます。

#### ①優れた芸術文化を提供・発信していきます

- ①音楽、演劇、伝統芸能、映画、展示会などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供します。
  - 著名なアーティストによる公演の充実
  - 優れた作品の積極的な紹介
- ②多くの市民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供します。
  - 市民の誰もが気軽に芸術文化に親しめる公演の充実
  - 地域の施設を活用したアウトリーチ事業（出張コンサート）などの充実
  - 情報市場（屋外広場）でのイベントの実施
- ③所沢ミューズのシンボル、パイプオルガンの普及に努めます。
  - 優れたアーティストによる公演の充実
  - 若手オルガニストの育成
  - 気軽に鑑賞し、体験できる機会の充実
- ④誰もが参加できる体験講座などを開催します。
  - 市民参加事業の充実
  - 青少年の豊かな人間性を育む事業の充実
  - ワークショップや講座の開催
- ⑤芸術文化に関わる情報を積極的に収集して広く発信します。
  - 芸術文化情報の収集・発信
  - 広報媒体の充実
  - インターネットを活用した新鮮な情報の発信

#### ②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

- ①芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進します。
  - 所沢市や、まちづくりセンターなどと連携した地域の活性化の支援

- 市内の教育機関、文化団体や市民団体との連携
- 青少年等、市民のための招待公演や優待公演の実施
- ②地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成をめざします。
  - 市内文化団体の活動支援
  - 市内在住・出身の芸術家の活動支援
  - 芸術に携わる学生の活動支援
- ③創造事業を推進し広く発信していきます。
  - 芸術家の創造活動の支援
  - 市民参加による芸術的創造の促進
  - 創造事業の推進と発信

### ③身近な所沢ミュージズをめざします

---

- ①利用しやすい所沢ミュージズをめざします。
  - 申請・受付時のサービスの充実
  - 利用者ニーズの分析
  - 施設利用者ニーズの把握と迅速な対応
- ②親しみやすい所沢ミュージズをめざします。
  - メンバーズ倶楽部の充実
  - 利用しやすいチケット販売方法の充実
  - 利用しやすいレストラン経営のための連携

### ④健全な事業団運営に努めます

---

- ①安定した継続性のある法人運営を進めます。
  - 組織強化の推進
  - 専門家の意見の事業団運営への反映
  - 個人情報保護
  - 積極的な情報公開
- ②適正な財政運営を維持していきます。
  - 予算の効率的な執行
  - 自主財源の確保

### ⑤人にも地球にもやさしい施設をめざします

---

- ①環境に配慮した施設運営に努めます。
  - 省資源・省エネルギーの推進
  - 廃棄物の減量化・再資源化の推進
- ②安全・安心・快適な施設運営に努めます。
  - 小さなお子様、お身体の不自由な方、ご高齢の方へのやさしい施設運営
  - 緊急時対応についてのスキル向上

※運営方針に記載されている「指標」と「目標値」は、2018年度から2021年度の4年間の各方策への取組状況や取り組んだ成果を測る物差しとして設定したものです。「現状値」は目標値設定の基準としたものであり、この運営方針の策定に着手した時点で把握している直近のデータのうち、目標値の設定に最も適しているデータを採用したものです。

**①優れた芸術文化を提供・発信していきます**

---

## 芸術文化で新たな所沢の魅力を創出し発信します

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

### 方 策

①音楽、演劇、伝統芸能、映画、展示会などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供します。

《現状と今後の方策》

所沢ミュージズは、1993年に本格的な3つのホールを有する文化施設としてオープンし、埼玉県はもとより関東でも屈指の充実した設備と規模を誇ります。また所沢市が策定した「文化芸術振興ビジョン」でも指摘されている通り、所沢ミュージズに隣接する航空記念公園は広大な敷地の中に豊かな自然を擁する、全国的にも大変貴重な恵まれたロケーションにあります。

そうした環境にある所沢ミュージズには、市民の誰もが親しみやすい文化事業と、同時に芸術文化の拠点として広く世界に発信される水準の高い事業内容が求められます。

そこで、今後も多くの市民が豊かで文化的な生活を実感できるように、音楽、演劇、伝統芸能などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供していきます。

具体的な取組	<p>●著名なアーティストによる公演の充実 クラシック、演劇・ミュージカル、ポピュラー音楽、落語など幅広いジャンルにおいて人気・実力の両面で、トップクラスのアーティストによる公演を身近に鑑賞できる機会を充実させていきます。</p> <p>●優れた作品の積極的な紹介 音楽や演劇、寄席や能楽などの日本の伝統芸能をはじめ世界各地の民族芸能などを幅広く紹介していきます。また様々な事業を通じて、広く名作として親しまれている作品を積極的に取り上げ、幅広く紹介していきます。</p>
--------	--

	<b>自主事業の観客入場率 (全事業の平均)</b>	<b>【現状値】 71% (5年間の平均)</b>
		<b>【目標値】 75% (年平均)</b>
指 標	<p>【説明】優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するための取組の成果を示す指標です。</p> <p>現状値は、事業団が2012年度から2016年度の5年間で実施した全事業の平均観客入場率です。</p> <p>2018年12月から2020年3月までは、大規模改修のため所沢ミュージズのホールが使用できませんが、「文化芸術振興ビジョン」にも示される通り、所沢には地域に様々な充実した文化施設が存在します。市内12カ所のまちづくりセンターをはじめ、航空記念公園の野外ステージ、西武所沢店のワルツホールなど地域の施設を利用して様々な事業を展開し、2018年度から2021年度の4年間における年間の平均観客入場率で75%をめざします。</p>	

## 芸術文化で新たな所沢の魅力を創出し発信します

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

### 方 策

②多くの市民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供します。

《現状と今後の方策》

所沢ミュージアムは開館以来、様々な事業に取り組み、多くの方々に芸術文化に触れる機会を提供してきましたが、さらに幅広い世代へ芸術文化に触れる機会を提供し、いっそうの普及と拡大を図っていくことが求められます。

そこで今後も、多くの市民が様々なジャンルの芸術文化に気軽に触れる機会を提供していきます。

#### 具体的な取組

##### ●市民の誰もが気軽に芸術文化に親しめる公演の充実

様々なジャンルで、幅広い世代の方が楽しめる公演を企画し、「気軽にクラシック」「500円コンサートシリーズ」「名画シアター」など、誰もが気軽に低料金で楽しめる公演の充実に努めます。また「能楽講座」「フルート講座」など、初心者から気軽に様々な芸術文化を楽しむことができる事業にも積極的に取り組んでいきます。

##### ●地域の施設を活用したアウトリーチ事業(出張コンサート)などの充実

市内の小・中学校や市役所の「音まちコンサート」、リハビリテーションセンター、高齢者施設などを対象に、所沢ミュージアムに出演するアーティストによる出張コンサートや寄席公演を実施し、日頃所沢ミュージアムに来場する機会の少ない子供や高齢者が芸術文化に親しむきっかけを作ります。まちづくりセンターとの連携事業では、地域の方が気軽に芸術文化に触れる機会を提供していきます。

##### ●情報市場(屋外広場)でのイベントの実施

3つのホールに囲まれた情報市場で誰もが気軽に楽しめるイベントを開催します。また、自主事業に関連した“賑わいの場”“集いの場”として活用することで、所沢ミュージアムが多くの市民にとって開かれた場となるように努めていきます。

指 標	普及事業の開催数	【現状値】 35回（5年間の平均）
		【目標値】 35回（年平均）
	【説明】芸術文化に触れる機会を提供し、その普及と拡大への取組状況を示す指標です。 現状値は2012年度から2016年度の5年間の普及事業の平均開催数であり、大規模改修による休館を含む2018年度から2021年度の4年間においてもこれまでの取組を継続し、年平均35回を維持します。	

## 芸術文化で新たな所沢の魅力を創出し発信します

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

### 方 策

#### ③所沢ミュージズのシンボル、パイプオルガンの普及に努めます

《現状と今後の方策》

所沢ミュージズでは大ホールに設置されている国内最大級のパイプオルガンを使って、多彩なコンサートを開催し、またオルガンスクールを継続して開講してきました。

今後も、パイプオルガンを所沢ミュージズのシンボルの1つとしてさらに多くの市民に親しんでいただくために、世界的レベルの演奏を聴く機会を提供するほか、気軽に楽しめる公演、オルガンの演奏体験をしていただける機会を提供していきます。

#### 具 体 的 な 取 組

##### ●優れたアーティストによる公演の充実

国内最大級のパイプオルガンの響きを聴いていただくために、国内外の優れたオルガニストによる公演を開催し、バッハほか多くの名作の演奏を聴く機会を提供していきます。

##### ●若手オルガニストの育成

「500円オルガンコンサート」などオルガンを普及するための様々な企画や演奏会に若手奏者を起用し、所沢ミュージズのオルガンを通じて広く国内外で活躍できる演奏家の育成に努めていきます。

##### ●気軽に鑑賞し、体験できる機会の充実

0歳から鑑賞できる「500円オルガンコンサート」を継続的に実施し、気軽にオルガンの響きに触れる機会を提供します。また、「とことこ探検ツアー」やオルガン公演の終演後には、所沢ミュージズのオルガンの演奏体験ができる機会を提供していきます。さらに「オルガンスクール」「オルガン特別講座」では、より深くオルガンの魅力を感じていただくため、年間を通じて演奏技術やオルガンの仕組み、歴史などを学んでいただける機会を提供していきます

	<b>パイプオルガン 関連事業の入場者数</b>	<b>【現状値】 6,600人（5年間の平均）</b>
		<b>【目標値】 7,000人（2020年度～2021年度の年平均）</b>
<b>指 標</b>	<p>【説明】パイプオルガン普及事業の成果を示す指標です。</p> <p>現状値は2012年度から2016年度の5年間に実施したパイプオルガン関連事業の平均入場者数です。</p> <p>2018年12月から2020年3月の大規模改修による休館中はアークホールのオルガンが使用できないため、移動用の小型オルガンを使用した公演や他ホールのオルガン見学を予定していますが、改修が終わる2020年度と2021年度は、年平均7,000人の入場者をめざします。</p>	

## 芸術文化で新たな所沢の魅力を創出し発信します

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

### 方 策

④誰もが参加できる体験講座などを開催します。

《現状と今後の方策》

芸術文化に対するニーズがますます多様化する中、様々な芸術分野で鑑賞だけでなく自ら参加し、体験・創造する事業の実施が求められています。

そこで今後も、誰もが体験でき、参加できるワークショップや講座などを開催し、芸術文化に身近に触れて、より深く理解していただく機会を提供していきます。

#### 具 体 的 な 取 組

##### ●市民参加事業の充実

パイプオルガンスクール、能楽講座、フルート講座など、各分野の専門家の指導により本格的な技能を学習し、成果を発表する場を提供していきます。また、市民参加や児童による合唱団とプロの演奏家との共演など、より高度で質の高い芸術文化を体験する機会を提供していきます。

##### ●青少年の豊かな人間性を育む事業の充実

所沢ミュージズで開催する公演に関連し、高校生とプロのオーケストラとの共演の場を提供したり、小・中・高校生の優待や公開リハーサルへの招待、また近隣大学や教育機関等との連携により若い世代が芸術文化に深く関わる機会を提供し、次代を担う人材の育成に努めていきます。

##### ●ワークショップや講座の開催

芸術文化の鑑賞だけでなく、能動的に体験し親しむことができるよう、子供から大人まで参加できるワークショップを開催します。また文化的な講座を通じてより深く芸術文化に親しむ機会を提供していきます。

	体験講座への参加者数	【現状値】 604名（2016年度）
		【目標値】 700名（年平均）
指 標	【説明】誰もが参加できる体験講座への取組の成果を示す指標です。体験講座の参加者は、様々な取り組みにより近年大幅に増加しています。 現状値は過去5年間で最も多い2016年度の参加者数であり、大規模改修による休館を含む2018年度から2021年度の4年間においてもこれまでの取組を継続し、年平均700人をめざします。	



## 芸術文化で新たな所沢の魅力を創出し発信します

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

### 方 策

⑤芸術文化に関わる情報を積極的に収集して広く発信します。

《現状と今後の方策》

芸術文化活動の拠点としての所沢ミュージズは、自主事業の実施とそれに伴う様々な芸術文化に関わる情報を収集し広く発信していくことが求められます。これまでも様々な媒体で情報を発信していますが、市民の要望はより多様化し、情報を取り巻く状況も時代とともに大きく変動しています。

こうした状況を踏まえ、従来の情報媒体のみならず、時代に合った様々な新しい媒体も十分に活用し、芸術文化に関わる有益で新鮮な情報を発信していきます。

#### 具体的な取組

##### ●芸術文化情報の収集・発信

アーティストや芸術作品に関する情報を収集し自主事業や情報媒体を通じて発信するとともに、市内のまちづくりセンターや学校等への情報提供を通じて、広く市民に新鮮な情報を発信していきます。また、芸術文化の専門誌等を揃えた閲覧コーナーを設置するなど、芸術文化を取り巻く情報に誰もが触れられる環境づくりに努めていきます。

##### ●広報媒体の充実

自主事業の告知を行なう月刊情報紙や公演ちらし、芸術文化やアーティストに関する読み物である『インフォーマット』など、広報媒体をいっそう充実させることで、多くの市民が芸術文化に関心を持つきっかけをつくります。また、新聞・雑誌・フリーペーパーでの広告や公演情報のポスティングなどを活用し、多様な関心を持つ市民に広く情報を発信していきます。

##### ●インターネットを活用した新鮮な情報の発信

所沢ミュージズのホームページを活用し、新鮮でわかりやすい情報を発信します。ホームページは既に2012年度に全面リニューアルを行い、随時更新により最新の情報を発信し、急な出演者の変更など緊急のお知らせも即時に発信しています。また、ツイッターとフェイスブックも活用し、アーティスト情報などきめ細やかで即時性のある情報提供を行っています。今後も、動画や画像などのメディアを有効に活用し、より広範囲で専門的な情報を効率的に発信できるよう工夫していきます。

	ホームページへの アクセス件数	【現状値】 385,800 件（2016 年度）
		【目標値】 400,000 件（2020 年度～2021 年度の年平均）
指 標	<p>【説明】芸術文化情報の収集と発信への取組の成果を示す指標です。</p> <p>現状値は過去最多となった2016年度のホームページアクセス件数です。</p> <p>2018年12月から2020年3月の大規模改修による休館中はホール利用がなく、またホールを使用した自主公演も実施できなくなるため、ホームページへのアクセス数も大幅な減少が予想されますが、改修が終わった2020年度と2021年度は従来以上の情報発信につとめ、年平均で400,000件のアクセス数をめざします。</p>	

**②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します**

---

**方 策**

**①芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進します。**

《現状と今後の方策》

所沢ミュージズの自主事業では、ホールで行う鑑賞型の事業のみならず、地域の様々な団体や教育機関、企業と連携し、地域に根差した事業を展開することも求められます。

そこで今後も、引き続き所沢市、教育委員会、まちづくりセンターなどの協力のもと、市内の各施設や文化団体等と緊密な連携を図り、芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進していきます。

具体的な取組	<p><b>●所沢市や、まちづくりセンターなどと連携した地域の活性化の支援</b></p> <p>所沢市が推進する「音楽のあるまちづくり」事業、市内各地区のまちづくりセンターとの共催事業のより一層の充実を図り、市内の各地域の活性化に努めていきます。</p> <p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、地域に根差した豊かな文化が実感されるような「所沢ブランドの発信」に重点を置いた取組を推進していきます。また、所沢市と（株）KADOKAWAが進める「COOL JAPAN FOREST 構想」では、2020年に美術館、博物館、図書館、イベントホールなど様々な機能を備えた「ところざわサクラタウン」がオープンします。所沢ミュージズもこうした街づくりに積極的に参画し、（株）KADOKAWAのほか様々な企業等とも連携し、地域の活性化と魅力向上に努めていきます。</p>
	<p><b>●市内の教育機関、文化団体や市民団体との連携</b></p> <p>教育委員会との協力体制を活かし、市内小中学校との連携を図り、小中学生を対象とした文化振興事業を展開していきます。</p> <p>また、県立芸術総合高等学校など市内の高等学校、大学及び文化団体、市民団体等と協働する事業を積極的に実施するほか、市民の実行委員会とボランティアを活用した「夢あかり音楽会」を開催するなど、市民と共に創りあげる事業展開を進めていきます。</p>
	<p><b>●青少年等、市民のための招待公演や優待公演の実施</b></p> <p>所沢市に転入された方にいち早く所沢ミュージズの存在と魅力を知っていただくために、自主公演への「市内転入者招待企画」を継続して実施していきます。</p> <p>また、公演に来場する機会が少ない青少年等を対象とした招待、あるいは優待公演を実施し、誰もが芸術文化に身近に触れる機会を提供していきます。</p>

指 標	<b>地域活性化事業の開催数</b>	<b>【現状値】 22回（5年間の平均）</b>
		<b>【目標値】 25回（年平均）</b>
	<p>【説明】 地域コミュニティ活性化への取組状況を示す指標です。</p> <p>現状値は2012年度から2016年度の5年間の地域活性化事業の平均開催数であり、大規模改修による休館を含む2018年度から2021年度の4年間においても地域と連携した東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム、（株）KADOKAWAと連携した事業などに積極的に取り組み、年平均25回をめざします。</p>	

## 芸術文化で新たな所沢の魅力を生み出し発信します

### ②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

#### 方 策

#### ②地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成をめざします。

##### 《現状と今後の方策》

所沢ミュージズには、高い水準の芸術文化の発信と同時に、市民の活動を支援することが求められます。最近では、市民による文化活動も一層多様になり、水準の高いものになりつつあります。所沢市が策定した「文化芸術振興ビジョン」では、所沢ゆかりの様々な文化人や文化に関連する施設がまとめられていますが、そのような豊富な人材と充実した施設を十分に活用し、時代の様々なニーズに応え、地域の芸術家や文化団体の支援・育成に積極的に取り組んでいきます。

具体的な取組	<p><b>●市内文化団体の活動支援</b> 市内に活動の拠点を置き、継続的かつ活発な活動を展開する文化団体の情報を収集し、その活動を支援します。所沢ミュージズの自主事業との連携を図り、内容に応じた発表の場を提供したり、活動をサポートすることで、地域に根差した文化活動のより一層の充実を図っていきます。</p>
	<p><b>●市内在住・出身の芸術家の活動支援</b> 市内・県内の在住・出身で国内外で広く活躍する芸術家や、これから活動の場を広げようとする芸術家の情報を幅広く収集し、所沢ミュージズでの公演や所沢市の音まち事業、まちづくりセンターでの公演に出演していただくなど、その活動を積極的に支援し、地域の活性化を図っていきます。</p>
	<p><b>●芸術に携わる学生の活動支援</b> 所沢市や近隣に拠点を置く教育機関などと連携を図り、芸術家をめざす若者に学習と発表の場を提供し、活動の支援を行っていきます。また、芸術文化活動の企画・制作などアートマネジメントを学ぶ学生のインターンシップの受け入れを積極的に行っていきます。</p>

指 標	<p><b>芸術文化活動の支援や育成につながる事業の開催数</b></p>	<p>【現状値】 12回（5年間の平均）</p>
		<p>【目標値】 15回（年平均）</p>
	<p>【説明】 地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成への取組状況を示す指標です。 現状値は2012年度から2016年度の5年間の芸術文化活動の支援や育成につながる事業の平均開催数であり、大規模改修による休館を含む2018年度から2021年度の4年間においても、地域の文化施設を最大限に活用しながらこれまでの取組を継続し、年平均15回をめざします。</p>	

## 芸術文化で新たな所沢の魅力を創出し発信します

②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

### 方 策

③創造事業を推進し広く発信していきます。

《現状と今後の方策》

所沢ミュージズには、伝統のある豊かな芸術文化を継承し育てていくこと、さらに後世に伝えられる優れた芸術作品の創造を推進していくことが求められます。現代は、古典として定着した名作が繰り返し消費され、新しく創造される作品が評価されづらい傾向にあります。こうした状況の中でも、多くの市民に求められる創造的な事業に積極的に取り組むことが必要です。

そこで所沢ミュージズでは、市民による創造的芸術文化活動を推進するなど、様々な分野で後世に伝えられるべき優れた作品の創造を促進し、その成果を広く発信していきます。

具 体 的 な 取 組	<b>●芸術家の創造活動の支援</b> 特に水準の高い活動を行う芸術家や芸術団体を継続的に支援し、活動の場を提供することで、地域に根差した創造活動を促進します。また、芸術文化活動を通して創造する意義と楽しさを感じてもらい、創造を支援するネットワークを形成していきます。
	<b>●市民参加による芸術的創造の促進</b> 市民の活力を生かした芸術文化活動を推進し、市民の手作りによる創造を育みます。所沢ミュージズを芸術文化活動の総合的な発表の場とし、多くの市民が創造に触れることができる環境を整備していきます。また、自主事業の一部にボランティアを登用するなど、所沢ミュージズの事業を通して、芸術文化の創造活動に市民が参加できる機会を提供します。
	<b>●創造事業の推進と発信</b> 市民が主体的な作り手として参加し、創造する芸術文化活動を推進するなど、様々な分野で優れた作品の創造を促進し、その成果を広く発信していきます。

	創造的事業の開催数	【現状値】 6回（5年間の平均）
		【目標値】 7回（2020年度～2021年度の年平均）
指 標	【説明】 創造事業の推進への取組状況を示す指標です。 現状値は2012年度から2016年度の5年間の創造的事業の平均開催数です。 2018年12月から2020年3月の大規模改修による休館中は、地域と連携した新しい事業や普及事業に力を注ぎますが、改修が終わった2020年度と2021年度には、これまでの取組を継続し、年平均7回の創造事業の実施をめざします。	

**③身近な所沢ミュージズをめざします**

---

**方 策**

①利用しやすい所沢ミュージズをめざします。

《現状と今後の方策》

所沢ミュージズは、2018年12月からの大規模改修により、屋外エスカレーターや中ホールエレベーターの設置のほか、階段部分への手摺の増設や扉の一部自動化・片引扉化など、バリアフリーの大幅な改善が図られ、さらに安全で利用しやすい施設に生まれ変わります。しかしながら、今後も多くの方にご利用いただくためには、施設・設備といったハード面だけでなく、接遇や利用者サービスといったソフト面の充実も求められます。

そこで今後も、引き続き利用者ニーズの把握と対応に努め、利用者の利便性の向上を図っていきます。また、大規模改修工事に伴う休館中については、リニューアルオープン後の利用に支障が出ないように、迅速で正確な情報提供に努めます。

具体的な取組	<p>●申請・受付時のサービスの充実</p> <p>事業団では、キャンセル待ち予約サービスや、利用者の方から要望の多かった舞台図面等のWeb公開など、利便性の向上に努めてきました。今後も、チケット代行販売のご案内等、施設利用に関わるきめ細やかなサービスを常に心掛けるとともに、接遇マナー、プライオリティゲストへの対応に関する研修を実施するなど、職員の業務スキルの向上に努めていきます。</p>
	<p>●利用者ニーズの分析</p> <p>長期休館中においては、これまで定期的実施していた利用者アンケートに寄せられた利用者の要望や意見を分析し、利用者サービス向上のための方策をリニューアルオープンに向けて検討していきます。</p>
	<p>●施設利用者ニーズの把握と迅速な対応</p> <p>利用者ニーズを把握するため、今後も定期的利用者アンケートを実施し、寄せられたご意見は、全て内容を記録し、施設の管理運営に活かしていきます。</p>

指 標	<b>施設利用者の満足度</b>	<b>【現状値】 98.3% (2016年度の平均)</b>
		<b>【目標値】 100.% (2020年度～2021年度)</b>
	<p>【説明】 利用しやすい所沢ミュージズへの取組の成果を示す指標です。</p> <p>現状値は、2016年度に実施した施設利用者アンケートにおける、施設内の案内表示や設備・備品、清掃、並びに職員の対応についての施設利用者の満足度の平均値です。</p> <p>2018年12月から2020年3月までは大規模改修による休館で施設が利用できないため、改修が終わった2020年度から2021年度の2年間で100%をめざします。</p>	

**方 策**

**②親しみやすい所沢ミュージズをめざします。**

《現状と今後の方策》

所沢ミュージズは、大・中・小ホール、展示室や会議室、レストラン等の各施設が全国的にも珍しい分棟型となっており、様々な利用形態に対応できる文化施設として多くの方にご利用いただいておりますが、2018年12月からの大規模改修では、施設のバリアフリーが充実され、さらに多くの方々に安心してご来館いただける施設になります。また、メンバーズ倶楽部会員も年々増加しており、今後も多様化するニーズに応えるべく様々なジャンルの自主事業を展開するとともに、来館者サービスの向上に努め、より多くの方が気軽に来場できる親しみやすい所沢ミュージズをめざしていきます。

具体的な取組	<p><b>●メンバーズ倶楽部の充実</b> 従来のチケットの優先販売、割引販売に加えて、メンバーズ優待公演や公開リハーサルへの招待など、メンバーズ限定の特典を充実するほか、継続会員への様々な特典を提供するなど、魅力ある会員特典を用意し、長く所沢ミュージズに親しんでいただけるよう努めていきます。</p>
	<p><b>●利用しやすいチケット販売方法の充実</b> チケットをより効率的にご購入いただけるよう、インターネットによるチケットの購入システムを導入します。</p>
	<p><b>●利用しやすいレストラン経営のための連携</b> 所沢ミュージズに来館される皆様がレストラン・カフェにおいても快適にお過ごしいただき、適正な価格の下でご満足いただけるよう、レストラン運営事業者に対し必要な助言や協力を行います。また、自主事業と連動した企画を進めるなど、“食”の面からも所沢ミュージズを盛り上げていけるよう、レストラン運営事業者と積極的な連携を図ります。</p>

	<b>所沢ミュージズの来館者数</b>	<b>【現状値】467,800人（5年間の平均値）</b>
		<b>【目標値】500,000人（2020年度～2021年度の年平均）</b>
指 標	<p>【説明】親しみやすい所沢ミュージズへの取組の成果を示す指標です。 現状値は、2012年度から2016年度の所沢ミュージズの平均来館者数です。 2018年12月から2020年3月までは大規模改修による休館で施設が利用できないため、改修が終わった2020年度から2021年度の2年間で年平均500,000人の来館者数をめざします。</p>	



**④健全な事業団運営に努めます**

---

### 方 策

#### ①安定した継続性のある法人運営を進めます。

##### 《現状と今後の方策》

事業団は、所沢ミュージズの開館以来24年間にわたり施設の管理運営を行うとともに、市や地域と連携しながら様々な自主事業を実施してきました。

所沢ミュージズは、2018年12月から施設の大規模改修による休館に入りますが、事業団には、所沢ミュージズの指定管理者として引き続き地域に根差した芸術文化の振興を図り、「所沢ブランド」の推進と「所沢プライド」の醸成に寄与することが求められています。

そこで今後は、引き続き適正な個人情報の保護と積極的な情報公開に努めるとともに、組織強化の推進と専門家の意見を事業団運営に反映できる体制の構築を進め、健全で安定した継続性のある法人運営のもと、これまで蓄積された施設運営のノウハウと地域とのネットワークを活用した更なる魅力事業の展開と効率的な施設運営を推進していきます。

### 具 体 的 な 取 組

#### ●組織強化の推進

職員採用計画及び有期雇用職員の正職員登用制度に基づく長期的視点に立った人員確保を進め、継続性のある安定した人員体制の構築を進めるほか、今後は、これまで行ってきた各種研修やセミナーへの参加に加え、先進的な取組を行っている他館への視察や実務研修にも取り組み、職員一人ひとりが公立文化施設運営のプロフェッショナルとして地域の文化振興に貢献できるように、職員のスキルアップと意識向上を図ります。

また、引き続き目標管理制度の運用により、PDCAサイクルの推進と組織内コミュニケーションの活性化を図るとともに、職員一人ひとりが自発的に課題改善に取り組むことのできる強い組織をめざします。

#### ●専門家の意見の事業団運営への反映

役員（理事、監事、評議員）の役割の精査と適材適所の選任を進め、役員体制の更なる充実を図っていきます。

今後、役員の専門的な観点からいただいたご意見を事業団の運営（事業企画、法人運営）に反映させる流れを更に推し進めることで事業団運営の強化と健全化を図り、さらに魅力ある事業展開を進めていきます。

#### ●個人情報の保護

業務上取得した個人情報については、利用目的の範囲内でのみ取り扱うことを厳守し、情報流出防止のため、職員や委託業者に対し定期的な啓発活動に努めるとともに、PFI事業者とも連携しながら適切な管理を行います。また、特定個人情報（マイナンバー）については、「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」及び「特定個人情報等取扱要領」に則り、厳重に管理します。更に、近年悪質化するウイルス対策として、IT関連情報の収集に努めるとともに、システムを継続的に監視するなど、セキュリティ強化を継続していきます。

#### ●積極的な情報公開

事業団が保有する文書については、事業団情報公開規程に基づき、適正な情報の開示に努めています。更に公益法人としての透明性を高めるため、引き続き活動状況や財務状況を見やすく分かりやすい表現で積極的に公開するとともに、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、YouTube等を活用してアーティストの動画やインタビュー記事、公演レポートや周囲の自然の移り変わりを配信するなど、所沢ミュージズの魅力を広くアピールしていきます。

### 方 策

#### ②適正な財政運営を維持していきます。

##### 《現状と今後の方策》

公益法人である事業団が、所沢ミュージズの管理運営や地域に根差した芸術文化の振興といった公益目的の事業を行うにあたっては、公益認定法に定められた「収支相償」の趣旨に基づき、事業活動で得られた収益を公益目的事業の拡充に最大限活用することが求められています。

また、所沢ミュージズは2018年12月から約1年4ヶ月の間、施設の大規模改修による休館となりますが、地域の文化振興のため、施設等利用料金収入が見込めないこの期間においても、まちづくりセンターをはじめとする市内各所において地域と連携した事業を実施するとともに、リニューアルオープン後には更なる事業の充実を図っていく必要があります。

このような事業団を取り巻く現状を踏まえ、今後も予算の効率的な執行と自主財源の確保に努めながら、収支バランスに十分配慮した適正な財政運営を維持していきます。

### 具 体 的 な 取 組

#### ●予算の効率的な執行

2018年度からの4年間は、これまで所沢市との協定により用途が自主文化事業に限定されていた施設等利用料金収入や事業収入を所沢ミュージズの施設管理運営にも充当することができるようになりました。

このため、PDCA サイクルを取り入れた「自主事業評価表」を引き続き活用することで事業収支の改善と事業内容の充実を図り、余剰金を施設の管理運営に充当するとともに、施設等利用料金収入や大規模公演実施による入場料収入が見込めない長期休館中の自主事業の実施にあたっては、これまで積み立ててきた「文化事業積立資産」や「繰越金」を活用するほか、隣接する所沢航空記念公園野外ステージ（約2,000名収容）を活用した大規模公演の実施等により収入の確保にも努めるなど、予算の効率的な執行による施設運営と自主事業の充実を図っていきます。

#### ●自主財源の確保

事業団は公益法人として、市民の皆様がより安価な費用負担で芸術文化に触れていただけるよう事業全体で収支バランスをとりながら計画的に事業を実施しています。今後も公益性の高い事業を継続して実施していくために、経費の節減のみならず、自主財源の確保にも努めていきます。これまで事業団では、有料広告枠の活用やオリジナルグッズ販売のほか、利用者用看板制作料や施設内自動販売機の販売手数料など、様々な方法で自主財源の確保に努めてきました。今後は、これらの取り組みを継続すると共に、寄附金の受入や各種補助金・助成金の申請を積極的に行うほか、企業からの協賛金の獲得など、更なる自主財源の確保に努めていきます。また、過年度に実施して利息収入の増加に効果があった複数金融機関による預金金利の引き合いについても、引き続き景気の動向を注視しながら実施していきます。

**⑤人にも地球にもやさしい施設をめざします**

---

**方 策**

① 環境に配慮した施設運営に努めます。

《現状と今後の方策》

事業団は、所沢市マネジメント方針を遵守するとともに、市の環境配慮事項等伝達書に留意し地球環境に配慮した施設運営を行っています。

今後もこの活動が継続して行われるよう周知徹底し、職員の環境に対する意識の向上を図っていきます。

また、リニューアルオープン後も、施設の維持管理を行う PFI 事業者に対し、所沢市マネジメント方針及び環境配慮事項等伝達書の遵守について十分に説明し、双方で環境に配慮した施設運営に努めていきます。

具体的な取組	<p><b>●省資源・省エネルギーの推進</b>                  備品購入時には、可能な限り長期間使用できるものを選定し、資源の効率的な活用に努めるとともに、省エネルギー推進のため、施設利用者の皆様にもご協力を頂きながら、通年で館内の空調温度の調整(冷房 28℃・暖房 20℃)を実施しています。                  リニューアルオープン後は、ほとんどの設備が更新され大幅な省エネルギーが期待されますが、PFI 事業者との連携を密に適正な運転管理を行い、更なる省エネルギーに努めていきます。                  また、所沢市が設立を目指している「所沢新電力(仮称)」についても、「まちごとエコタウン所沢構想」に基づき、地球環境に配慮した地域の廃棄物発電や太陽光発電等の再生可能エネルギー発電による電力を主な電源としていることから、所沢ミュージズの指定管理者として積極的に導入する方向で検討します。</p> <p><b>●廃棄物の減量化・再資源化の推進</b>                  廃棄物の減量化を図るため、所沢市環境配慮事項等伝達書に則り、ゴミの分別やコピー用紙の裏面利用の促進、市が実施する古紙回収に協力するとともに、消耗品はグリーン購入を基本としています。                  リニューアルオープン後も、これらの活動が継続できるよう PFI 事業者と連携して更なる再資源化を念頭に廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の減量化と再資源化に努めていきます。</p>
--------	---

指 標	<b>一般廃棄物の年間排出量</b>	<b>【現状値】 15 t (2016年度)</b>
		<b>【目標値】 13.5 t (2021年度)</b>
	<p>【説明】 環境に配慮した施設運営を行った成果を示す指標です。                  現状値は、2016年度における所沢ミュージズの一般廃棄物の年間排出量です。                  2018年度から2021年度までの4年間においても、ごみの分別やコピー紙の裏面利用の促進等に取り組み、2016年度を基準に、2021年度の年間の一般廃棄物の排出量の10%削減をめざします。</p>	

**方 策** ②安全・安心・快適な施設運営に努めます。

《現状と今後の方策》

所沢ミュージアの維持管理にあたっては、所沢市と協議しながら施設・設備の改修・修繕を実施していますが、開館から24年が経過し、施設全体の経年劣化が進んでいます。

このため、所沢市において2018年12月から大規模改修が行われる予定であり、今後は改修が円滑に進むよう全面的に協力するとともに、改修までの間、施設の利用に支障を来すことのないよう、適宜、維持保全のための修繕を行います。

また、安全・安心・快適に施設をご利用いただくためには、お客様の安全を第一に考え、災害時・防犯等に迅速かつ的確に行動できる職員の配置が必要です。

このため、現状は適正な職員配置を行っておりますが、リニューアルオープン後も、施設の維持管理を行うPFI事業者と十分な連携を図り、適正な職員を配置し更なる安全・安心・快適な施設運営に努めます。

具体的な取組	<p>● <b>小さなお子様、お身体の不自由な方、ご高齢の方へのやさしい施設運営</b></p> <p>施設のご利用に際しては、施設で働く全ての職員が積極的にお客様へお声掛けをし、ご不便をお掛けしないように、また不自由な思いをされないように、やさしい施設をめざします。</p> <p>このため、2015年度と2017年度に実施した、小さなお子様や、お身体の不自由な方、ご高齢の方への対応に関するプライオリティゲスト研修を今後も定期的の実施し、「心のバリアフリー」に努めます。</p> <p>また、2018年12月からの大規模改修で新たに設置されるバリアフリー対策のための諸設備についても、リニューアルオープン後はPFI事業者と連携を図りながらより効果的な活用を行っていきます。</p>
	<p>● <b>緊急時対応についてのスキル向上</b></p> <p>従来、職員のみで行っていた自衛消防・防災避難訓練に加え、施設利用者・来館者の方々にも参加を呼びかけ、より実態に即したコンサート形式の防災避難訓練（避難訓練コンサート）を2017年度に大ホールで実施しました。この避難訓練コンサートについては、今後もホールを替えて定期的の実施してまいります。</p> <p>また、自衛消防・防災避難訓練、救命講習会、防犯訓練、テロ対策等の実施に際しては、所沢東消防署・所沢警察署に指導を仰ぎながら、PFI事業者も含めた全職員の緊急時対応についてのスキル向上をめざします。</p>

指 標	<p><b>避難訓練コンサート来場者の「わかりやすい避難誘導」への評価</b></p>	<p>【現状値】 66% (2017年度)</p>
		<p>【目標値】 70% (2020年度～2021年度の年平均)</p>
	<p>【説明】安全・安心・快適な施設運営への取組の成果を示す指標です。</p> <p>現状値は、2017年度に実施した避難訓練コンサート来場者アンケートの「避難誘導のわかりやすさ」への設問に対し、「とても良かった」「良かった」と回答された方の割合です。2019年度は大規模改修による休館でコンサートが実施できませんが、改修が終わった2020年度と2021年度は従来どおりコンサートを実施し、年平均で70%をめざします。</p>	